

文化財ボランティア

第18号

# 火曜会通信

発行日：平成15年7月1日

発行：伊丹市文化財ボランティアの会

発行所：伊丹市千鶴1丁目1番地

伊丹市教育委員会事務局内

## みんなの「火曜会通信」

服部 浩夫

「火曜会通信」の編集を担当していましたが、17号から新しいメンバーにお願いしています。今回は、原稿を依頼する立場から投稿する側になりました。

振り返ってみますと、「火曜会通信」は創刊号から多数のみなさまのご協力と励ましのおかげで、なんとか続けることができました。トップページを飾る巻頭言、研究報告や研修旅行記、リレー随想や俳句・短歌の投稿と要請を断られつつも最後には協力していただきました。

編集の一番の課題は原稿を集めることで、また会員全員にどこかのコーナーで登場していただくことを心がけて担当してまいりました。

そのような編集過程の中で実感したことは、南米や中国の海外旅行をしているお元気な皆さんやパソコン研修や郷土史に取り組んでいる方、俳句や短歌の趣味を大切にしている方など、日頃の会合ではそぶりにも感じられない多様な素晴らしいメンバーが大勢いると知ったことでした。また、会話する機会の少ない方も紙面を通じて多彩な一面をみなさまに知っていただくことができたのではと思います。

そのほかにも、ハーモニカ演奏でなごませてくださるAさんやクイズや頭の体操を通して固い頭をやわらかくし愉しく盛り上げるBさん、美声で喜ばれているCさん、ちぎり絵やカルタ作りのDさんなど活動的な仲間がいることでした。

私たちは歳を重ねるとともに何事にも控えめになりがちですが、火曜会活動は会員自身の自主的、自発的行動を根底にして、元気に楽しみながら続けられる活動にすべきだと思います。

活動は楽しく、『楽しくなければ火曜会活動でない』と言っても過言ではないと思っています。活動を楽しむための近道は「火曜会通信」を利用することにあるのではないのでしょうか。

自分の好きなことやこんなことをやってみたいなど、どしどし「火曜会通信」に投稿してください。みなさんのご意見やアイデアの中から会の目的でもある生きがいくくりや、やりがい生まれ、楽しく面白い火曜会にすることができると信じるのです。

---

### 主な行事予定 定例会（7月～10月）

7月 8日（火）研究発表「私と中国」、他	中央公民館
8月19日（火）特別講座「地域教育の推進について」生涯学習推進課	中央公民館
9月 9日（火）研究発表「鬼貫と歌碑」	中央公民館
10月14日（火）秋季研修旅行行事事前勉強会	中央公民館

---

「関西緊迫」「台湾人医師SARSの感染濃厚に」「問い合わせ1300件姫路城も消毒」5月17日（土）毎日新聞の見出しである。5月27日の姫路方面春季研修旅行を1週間後にひかえて、一時は心配しましたが、後日姫路市も「安全宣言」が出てほっとしました。今回は、兵庫県立歴史博物館と、明石海峡を眼下に望む丘陵地に残る五色塚古墳の見学でした。あまり暑くなく好天に恵まれ無事に終わったとうれしく思います。

姫路城の公園の中に建つ歴史博物館は、現代の城をイメージした白い建物で、県民が兵庫県下の歴史を学べるよう博物館として1983年にオープンしたものです。ここからは姫路城の大天主を間近かに望むことができ、姫路城の構造も良くわかります。各展示室では兵庫県域の歴史、民族、文化、産業などをより深く広く学習する設備が整っていますが、一般に広く知られていないのが残念です。

五色塚古墳は、4世紀末から5世紀初めに造られた前方後円墳で墳丘の周囲には濠がめぐらされ、別名を千壺古墳といわれています。今も墳頂におかれている朝顔型やひれ付き円筒埴輪がかつては約2000本も立っていたと推定されています。この葺石は古墳時代に淡路の五色浜付近から運んで葺かれたので「五色塚古墳」と呼ばれるようになったといわれています。

この度の研修会は、兵庫県「走る県民教室」の制度を利用しましたのでアンケートを依頼され、参考までに参加者34名のその際の感想を記しておきます。

#### 《県立歴史博物館の内容及び施設の仕事や役割について》

- (1) 施設の感想 1) 整っている(30件) 2) 普通(4件) 3) 不十分(0)
- (2) 施設の仕事や役割について
- 1) よくわかった(18件) 2) 大体わかった(16件) 3) わからない(各0)
- ボランティアの説明でよく理解できた。(9件)
  - 説明の時間が短くて残念。(3件)
  - 姫路城の構造が良くわかった。
  - この博物館は、姫路城の名声の陰に隠れている。もっとPRすべきだ。

#### 《五色塚古墳の内容及び施設の仕事や役割について》

- (1) 施設の感想 1) 整っている(24件) 2) 普通(10件) 3) 不十分(0)
- (2) 施設の仕事や役割について
- 1) よくわかった(15件) 2) 大体わかった(15件) 3) よくわからなかった(4件)
- 古墳本体のみならず周辺施設(資料館、学習館、体験施設など)があればもっと利用度が上がると思う。(3件)
  - 復元された古墳を見るのは初めてで、大変印象深かった。
  - 街の中にこれだけの古墳が、また原型が残っていることに感心した。
  - ゆったりと散策できてよかった。

ご協力有難うございました。

<Q&Aコーナー>

- Q 寺院でガイド説明をしている折りに、「七堂伽藍とは」の質問がありますが、どの様な建物を指すのでしょうか
- A まず伽藍について説明しますと、サンスクリット語のサンガーラーマの漢訳、「僧伽藍摩（そうがらんま）」を略したものである。サンガーとは釈尊を信奉する僧衆の集団を意味し、アーラーマは園を意味する。したがって僧園・僧院・衆園などと漢訳されている。つまり寺院のことである。のちには寺院の建造物に限定し、その総べてをさす場合もある。「七堂伽藍」という用語が使われだしたのは、存外あたらしく、江戸時代といわれている。これは七つの堂宇、つまり寺院として完全に堂宇を具えていることをいったらしい。しかし、その種類や名称は、宗派や時代によって若干異なる。参考までに石田茂作氏作成の構成表を記載します。

七堂伽藍の構成（石田茂作氏による、一部加筆）

奈良時代	塔	金堂	講堂	鐘楼	経蔵	僧房	食堂
法相	塔	金堂	講堂	鐘楼	経蔵	左堂	右堂
華嚴	五重塔	金堂	講堂	中堂	後蔵	左堂	右堂
天台	相輪櫓	中堂	講堂	戒壇堂	文殊楼	法華堂	常行堂
真言	大塔	金堂	講堂	灌頂堂	経堂	大師堂	五重塔
真言	五重塔	金堂	講堂	鐘楼	経蔵	大門	中門
禅宗	山門	仏殿	法堂	東司	西浄	僧堂	庫裏
禅宗	山門	仏殿	法堂	廊	寢堂	禅堂	食堂
禅宗	山門	仏殿	方塔	鐘楼	鼓楼	東方丈	西方丈
禅宗	山門	仏殿	法堂	東司	浴室	僧堂	庫院

活動報告（木曜日担当班）

木曜日班担当の分科会は平成14年11月26日に「昆陽池・瑞ヶ池周辺の文学碑を訪ねて」を会員に案内しました。このときは9名で担当しました。その後4名減り、後半は5名で郷町館ガイド等をこなしました。

郷町館の当番は1ヶ月に2回でることにして、臨時の来館者に対応しました。市外からの団体をガイドした方々から、後日「わかりやすく丁寧なご説明をさせていただき有り難うございました」とか「本日見学したコース以外にもいろいろ文化財見学コースがあるとのことで、これからも機会をつくって訪れたいと思います」というお礼状が来て、満足して帰られた様子がよみとれました。

まだまだ手探りのガイドですが、次からも頑張ろうと思っています。

文化財ボランティアの会に入れて戴いたものの、歴史のことは全く基礎知識を持ち合わせていませんので何となく不安です。60歳を越えてから、友達から頂く年賀状の大半が第二の人生についての近況を書いてきます。日本語の指導資格を取り、アメリカで教えている者、大学に再入学した者、男性料理教室や本格的なダンスを始めた者等小生の心は焦りを感じずにおれません。一般には「時間が出来たら、あれもこれもやりたい」との思いを持たれるのですが、小生は「時間が出来たので、さて何をしたのか」と云う状態です。インターネットで生涯学習を調べ、中央公民館でパンフレットを集め、やっと「文化財ボランティア養成講座」に辿り着いた次第です。まだ半年にもなりません、深い知識を持った方のお話、そして自分でも勉強して新しい事を知る喜び等、此の会に満足しています。先日の姫路研修旅行はアットホームな楽しい旅行でした。今後ともよろしくお願い致します。

・お知らせコーナー

主な活動の記録 <郷町館ガイド他>

4月 3日(木)	新俳句人連盟大阪支部	10人	担当	C班
4月16日(水)	金亀会	約60人	担当	B班
4月19日(土)	音更町草木趣味の会	36人	担当	E班
4月25日(金)	成文小学校(アトレアズベリー)	20人	担当	D班
5月16日(金)	双葉南自治会婦人部・長寿会	約50人	担当	D班
5月21日(水)	堺市 三水クラブ	28人	担当	B班
5月24日(土)	三菱電機OB会	39人	担当	E班
5月25日(日)	東急カルチャーウオーク	約1000人	担当	池田
6月 6日(金)	大阪府老人大学 イイナ会	77人	担当	D班
6月 8日(日)	玉造本町南振興会	74人	担当	F班
6月12日(木)	西宮HRC.	15人	担当	C班
6月20日(金)	東大阪市老人大学悠友塾六悠会	15人	担当	D班
6月24日(火)	宝塚市 トンボの会	6人	担当	A班
6月28日(土)	尼崎市NPO法人・コスモス	48人	担当	E班

編集後記

梅雨空に咲く紫陽花の花がひときわ目立つ季節になりました。編集委員交替後の第2回目の火曜会通信です。前号から<Q&A>のコーナーを設けました。できるだけ読みやすくするように心がけています。疑問やご意見があればお気軽にお寄せください。投稿もお待ちしています。